



こころの健康セミナー

安心して暮らせるまちづくり ～身近にできることから始める孤立対策～

昨今、「孤立」や「孤独」という言葉をよく耳にするようになりました。
社会が変化し、個人の生き方や働き方の多様化が進むとともに、
新型コロナウイルス感染症の流行もあり、その関心は高まっています。
この機会を通して、「孤立」や「孤独」とは何かや、地域での取組を知り、
わたしたちひとりひとりにできることを考えてみませんか。
皆様のご参加をお待ちしております。

2023年3月12日(日) 13:30～16:30
(開場13:00)

川崎市役所第4庁舎 2階ホール

参加
無料

第1部 講演

孤立とは、孤独とは —今わかっていること、これからできること—

講師／太刀川 弘和 氏 (筑波大学医学医療系臨床医学域災害・地域精神医学教授)

第2部 シンポジウム

地域でできること、わたしたちにできること

シンポジスト／西 智弘 氏 (一般社団法人プラスケア代表理事／川崎市立井田病院腫瘍内科部長)

福正 大輔 氏 (特定非営利活動法人ホッとスペース中原)

進行／竹島 正 (川崎市健康福祉局総合リハビリテーション推進センター)

講師・シンポジストの紹介

太刀川 弘和 氏

筑波大学医学医療系臨床医学域災害・地域精神医学教授

1993年筑波大学医学専門学群卒業。筑波大学附属病院、茨城県精神保健福祉センター、茨城県立友部病院、筑波大学保健管理センターを経て現職。青年期精神医学、災害精神医学、自殺予防学が専門。茨城県災害・地域精神医学研究センター部長、日本自殺予防学会理事も務める。著書に、「つながりからみた自殺予防」、人文書院、2019。

西 智弘 氏

一般社団法人プラスケア代表理事／川崎市立井田病院腫瘍内科部長

2005年北海道大学卒業。室蘭日鋼記念病院、川崎市立井田病院、栃木県立がんセンターを経て、2012年から川崎市立井田病院にて現職。抗がん剤治療を中心に、緩和ケアチームや在宅診療にも関わる。また一方で、一般社団法人プラスケアを2017年に立ち上げ代表理事に就任。「暮らしの保健室」の運営を中心に、地域での活動に取り組む。日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医。著書に、「社会的処方」、学芸出版社、2020。

福正 大輔 氏

特定非営利活動法人ホッとスペース中原

川崎市中原区にある特定非営利活動法人ホッとスペース中原にて、介護支援や障害者支援、子育て支援などに従事。現在は、同法人が運営するグループホーム「ちいろば」管理者。また、プロジェクト・ドロブラ代表として、演劇や映画製作にも携わっている。



会場案内

川崎市役所第4庁舎 川崎市川崎区宮本町3-3

問い合わせ先

川崎市健康福祉局 総合リハビリテーション推進センター
☎044-200-3197

本セミナーの詳細およびお申込みについては、
川崎市ホームページからご確認ください
(<https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000136850.html>)



なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況や災害発生等にともない、
やむなく開催の中止や開催方法の変更を行うことがありますので、
予めご了承ください。

「気づいてください! 体と心の限界サイン」

「九都県市自殺対策キャンペーン」統一標語

首都圏の住民は、通勤・通学等のため都県市を越えて活動していることから、九都県市共同で広域的な自殺対策に取り組んでいます
埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉県・さいたま市・相模原市

川崎市 いろいろ

検索

各種相談窓口も
案内しています



川崎市健康福祉局
総合リハビリテーション推進センター



川崎市自殺予防推進
キャラクター「うさぎっぴー」